

ワークショップ「複雑系ゆらぎデータの分析と制御：脳から社会まで」

日時：2011年10月27日（木）と28日（金）

場所：明治大学駿河台校舎大学会館内会議室（JR御茶ノ水駅近傍）

オーガナイザー： 明治大学先端数理科学研究科 高安秀樹＋三村昌泰

ねらい：多数の構成要素が複雑に相互作用しあうことで発生するようなゆらぎを、ここでは複雑系ゆらぎとよぶ。複雑系ゆらぎは、この30年ほどの数理科学の研究によって大きく進展し、様々な基本的特性が明らかになっている。フラクタル・カオス・ベキ分布・1/fゆらぎ・相転移・ネットワークなどをキーワードとして、数理モデルの解析がまず進み、しだいに、現実の中の現象におけるデータ解析の手法も開発されてきている。本ワークショップでは、複雑系ゆらぎのデータ解析方法を用いて明らかになってきているゆらぎ現象のうち、特に、人間に関連した話題を集め、様々な階層の現象を横断的に見渡し、相互の研究者の情報交換を行うとともに、新たな分野融合の可能性を探る。

下記の招待講演に加えて公募講演を組み合わせ、密度の高い自由な議論ができるような人数でのワークショップにする予定。

10月27日（木）（第1＋第2会議室）小テーマ”人間の行動に伴うゆらぎ”

小泉周 自然科学研究機構・生理学研究所・准教授

”網膜神経構造の秩序とゆらぎ”

武者利光 (株)脳機能研究所・所長

”脳波のゆらぎと異常の検出”

山田健太 早稲田大学・高等研究所・助教

”ブログ書き込み行動のゆらぎとブームの発生”

矢野和男 (株)日立基礎研究所・人間情報システムラボ長

”ビジネス顕微鏡を用いた人間相互作用のゆらぎ分析”

10月28日（金）（第3＋第4会議室）小テーマ”経済活動に伴うゆらぎ”

高安美佐子 東工大総合理工学研究科・准教授

”購買行動と取引ネットワークからみる企業のゆらぎ”

大西立顕 (株)キャノングローバル戦略研究所・研究員

”金融市場の非定常ゆらぎ”

家富洋 新潟大・理学部・教授

”産業のゆらぎと外乱への応答”

森谷博之 クェーサー22 シンガポール 代表取締役

”市場の流動性とその重要性”

講演を希望する方は、9月18日までに、名前・所属・身分・連絡先・講演タイトル・要旨・希望講演時間、を下記のアドレスに電子メールでお送り下さい。

連絡先：高安秀樹 takayas1@meiji.ac.jp